

### 3 公明党の主張で実現した主な政策！

#### 待機児童対策



##### 認証保育所の保育料負担が大幅に削減！

公明党豊島区議団は、増加する待機児童対策について、高野区長に対して再三にわたり申し入れを行ってまいりました。それにより「認証保育所保育料負担軽減のための補助金が、これまでの最大2万円から倍の4万円になるなど保護者の負担が大幅に削減されます。さらに区では、待機児童ゼロを目指して、平成29年度を目途に私立認可保育所の増設を行い、300名から500名の定員増を図っていくことになりました。

#### がん予防対策



##### HPV検査、ピロリ菌検査、ABC検診を一部無料実施！

23区で初めて、子宮頸がんを引き起こすヒトパピローマウイルス感染の有無を調べるHPV検査を導入することになりました。(無料検診対象:30歳、36歳、40歳)また、20歳にピロリ菌検査、40歳には簡単な血液検査だけで胃がんリスクがわかるABC検診をそれぞれ無料で実施。受診率の低い世代の検診率向上によりがん予防を図っています。

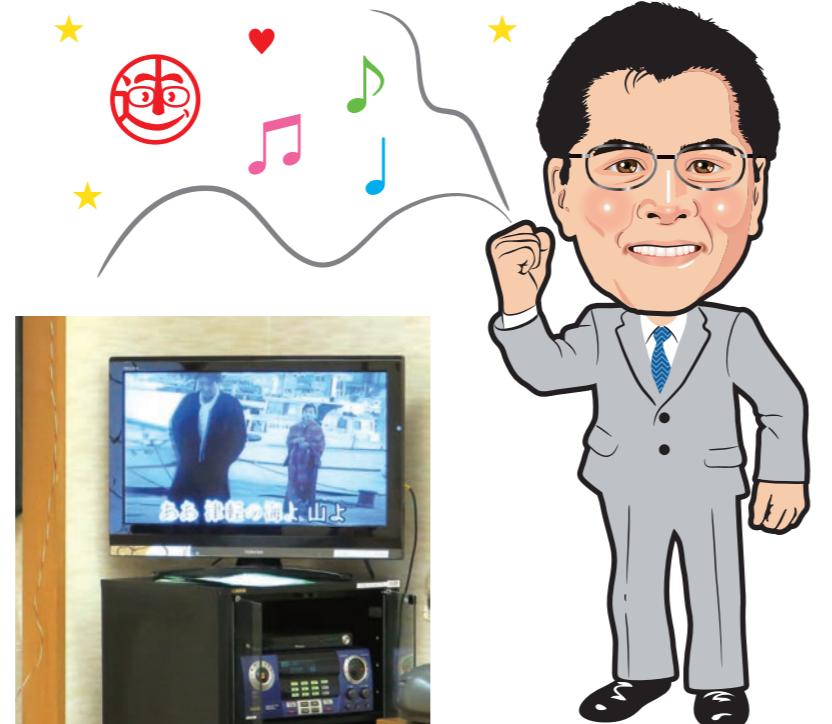
#### 「建物等の適正な維持管理を推進する条例」が施行！

空き家が増加傾向にあり、将来に向けた安全・安心対策を強化するため、今年7月に「建物等の適正な維持管理を推進する条例」が施行されます。勧告・命令・公表等による指導を強化するとともに、除去費用の助成や専門家の派遣等の支援を行い、老朽建物の損壊による事故、火災等の発生防止、老朽建物予備軍の減少を目指していくことになりました。

区民ひろばのカラオケ機器が故障しやすく、また使い勝手が悪いとの声を受けて、全ての区民ひろばに通信カラオケを配備することになりました(5か所設置済み)。機器は、企業の社会貢献活動として寄贈。カラオケは、健康増進、いきがいづくり、介護予防、世代間交流という4つの効能があり、区内ではカラオケサークル49団体が利用しています。



#### 通信カラオケを全ての区民ひろばに配備



### 豊島区議会第1回定例会報告

第22号

# 辻かおる 出前通信



“辻かおる”にお気軽にご相談下さい。また、お気付きの点など、ご一報頂ければ幸いです。

## 一人の声に真剣、全力！



【住所】〒171-0043 東京都豊島区要町2-5-13  
【電話&FAX】03-3974-7736  
【メールアドレス】k\_tsuji@a.toshima.ne.jp  
【公式ホームページ】http://kaoru-tsugi.com/  
【ブログ】辻かおるの出前通信 検索へ  
【フェイスブック・辻かおる】随時投稿しています!



辻かおるの「実現しましたマーク」  
どんどん増やして行きます！

【発行者】公明党豊島区議団 豊島区東池袋1-18-1 電話 3981-1428 ◆平成26年4月



## 1 強くしなやかな都市・豊島を目指せ！

災害や異常気象による被害が深刻化する近年、社会のレジリエンスを高める必要性が叫ばれています。

レジリエンスは、さながら雪折れしない柳のように、しなやかな強さを表す物理学用語です。災害の分野では、防災や減災のように抵抗力を強め、被害の拡大を抑えていく努力と併せて、甚大な被害に見舞われた場合でも、困難な状況を一つ一つ乗り越えながら、復興へ向けて進む回復力を高めることを重視する考え方となります。

そこで第1回定例会では、「強くしなやかな都市・豊島を目指して」と題して一般質問を行いました。(詳細は2, 3面に)

## 2 平成26年度豊島区予算が成立！

定例会では、平成26年度予算が審議され、賛成多数により可決、成立しました。一般会計当初予算額は1,080億円超で、対前年度比5.7%のプラスとなり、過去最大規模の予算となりました。

公明党豊島区議団は、区に対して引き続き身の丈に合った財政運営を図るよう訴えるとともに、「待機児童対策」など区民ニーズに的確に対応するよう要望。その結果、公明党が主張した政策が大きく前進しました。(詳細は、4面に)

広報としま3月1日付けより

### 平成26年度予算を1万円に置き換えると、このような使い道になります

高齢者・障害者福祉、生活保護など	保育園、児童館、子どもスクイップなど	小学校、中学校、幼稚園など	広報、電算、その他区役所の運営など	まちづくり、防災など	道路、自転車対策など
3,290円	1,513円	926円	865円	733円	428円
文化、スポーツ、図書館など	清掃、リサイクル、環境対策など	健康づくり、保健所の運営など	特別区債の返還	戸籍事務、区民事務所の運営など	各基金の積立て
409円	374円	316円	305円	162円	160円
区民ひろばの運営など	公園・児童遊園、緑化など	税を集めため	区議会の運営	商工業・観光の振興、勤労者福祉など	選挙・監査
150円	116円	80円	79円	78円	16円



# 平成26年豊島区議会第1回定例会 一般質問より

## テーマ「強くしなやかな都市・豊島を目指して」

### 1. 防災・減災対策について

Q1

「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法」成立を受けての本区の取り組みは。

A1

ソフト対策とハード対策、女性や高齢者、障害者等への十分な配慮など、引き続き強力に防災・震災対策を推し進めていく。

Q2

防災教育推進校の千川中学校は、今年の東京消防庁出初式でD級ポンプの実演を披露し、1月20日地域の防火防災功劳賞最優秀賞(消防総監賞)を受賞した。モデル的に同校にD級ポンプを常設すべき。

A2

D級ポンプの学校設置は、管理上・指導上の解決すべき課題もあることから、関係機関と条件整備について十分検討していく。

3月26日に設置されました。



### 2. 帰宅困難者対策について

Q1

豊島区は、4鉄道事業者を含む17事業者と「帰宅困難者対策の連携協力に関する協定」を締結した。「強くしなやかな都市」を目指す上でも重要であると評価する。締結の意義については。

A1

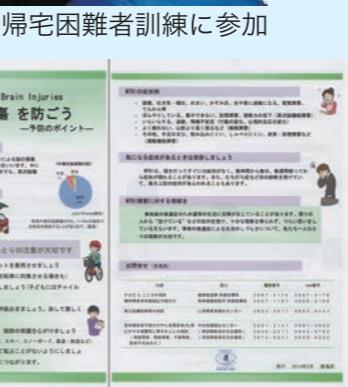
協定締結は、ターミナル池袋駅を抱える本区にとって、これまで以上に実践的かつ効果的な対策の推進が担保できるものとして、極めて重要で意義のあるものと捉えている。今後も、連携協力の輪をさらに広げていく。

Q2

帰宅困難者の一時滞在場所とともに避難路の拡充につながる池袋駅の東西デッキは、南デッキの実現とともに、中央デッキも推進をすべき。

A2

南デッキの整備が先行することになるが、中央デッキについても、周辺建物の将来の開発動向等を勘案しながら、関係者との調整を継続していく。



### 3. 公共施設のファシリティマネジメント(資産経営)について

Q1

豊島区大改造プロジェクト「街が変わる街を変える」を発表した今こそ、公共施設のファシリティマネジメントを迅速に推進すべき。

A1

同プロジェクトの施策の多くは、庁舎等老朽化した施設の改築に伴う事業。多くの施設が改修や改築の時期を迎へ、豊島区が大きく変貌する今こそ、すべての職員がファシリティマネジメントの意識をもって、事業に取り組むことが重要であり、そのためにも、職員研修等の充実を図っていく。



### 4. (仮称)西部地域複合施設整備について

Q1

入札不調、施設整備の一時凍結を受けて、近隣からは「すぐに避難場所として使えるように」、「体育館も前倒しで利用出来るように」との要望がある。検討状況と今後の取り組みは。

A1

入札参加業者からのヒアリングをもとに、設計者とともに、資材単価などの分析を続けている。区の方針が決定次第、区民の皆様へ説明の機会を設ける。

### 5. 軽度外傷性脳損傷について

Q1

軽度外傷性脳損傷(MTBI)は、交通事故や高所からの転落、転倒、スポーツ外傷、乳幼児の搖さぶりなどにより頭部に衝撃を受け、脳の神経線維(軸索)が傷つき発症するもので、“静かなる流行病”と指摘されている(WHO)。

その原因や自覚症状などがわかるパンフレットなどを作成し、広く区民に啓発・周知していくべき。

A1

パンフレットの作成にあたっては、MTBI対策が保健・福祉・教育の複数の所管にまたがることから、関係課による検討会を立ち上げ、打ち合わせを行っている。内容は、原因、自覚症状、医療機関受診の必要性の他、区の相談窓口リストを掲載する。

3月28日に完成しました。

※その他、インターナショナルセーフスクールの計画的な認証取得と、子育て支援における保育アドバイザーの配置について質問致しました。